

No.	(1)								(2)	(3)
	自治協議会や自治会・町内会に対する支援について (中間報告4ページ) 検討されている項目のうち、特に必要だと思う項目に○ (○はいくつでも可)								地域コミュニティの価値（大切さ）の共有 (中間報告3ページ下段)において 検討されている3つの項目 (情報発信・共有のための場づくり・条例などによる位置づけ) に関する意見	その他全体を通じての意見
	①住民理解の促進	②環境参加の促進	③生きがいの創出	④負担軽減	⑤公民館の活用	⑥多様な主体との連携	⑦自治会・協議会の活性化	⑧自治協議会の強化		
1				○					地域コミュニティの価値を共有できる場づくり 特に小さいお子さんをお持ちの若い方々は実際の活動には参加しづらいことが多い。時間の制約や場所の制約があり、意見が通りにくい状況がある。時間や場所が限られていても出席できるのは高齢者がほとんどであり、若い人たちには活躍の場所がないように思える。	町内の役割を担うと、一年中そのことに振り回されているようだ。 前例踏襲や地道さが求められ、若い方々の意見は鼻先で笑われているように感じる。また、地域では高齢の男性がさまざまな場面で全体を牛耳っていて女性の出る幕ではないという感じだ。決して口には出さないがまだまだ女性をお茶くみとみている風である。地域はまだ発展途上国並みの未発達な組織に見える。
2	○	○		○	○		○	○		町内会に入らない人の対応についてどうしたら？入らない人と入っている人の差別化は仕方ないかも。入っていない人への努力はしているのですが。
3				○	○			○	特に③（緩やかなつながりを生むきっかけづくり）に力を入れてほしい。 都心の場合はマンションやアパートばかりで、町内会の存在意義が認識されておらず、勧誘などの活動が難しい。	①民生委員と町内会で要支援者情報を共有できないことによる現場の混乱が起きている。双方が連携して助けるべき人を見守る必要があるが、別団体という理由で、表向きは情報交換ができないことになっている。本気で要支援者を助けようとするならば、個人情報の取り扱いについて実態に即した法整備をすべき。また多くの地域で民生委員の後任者が見つからないという問題も抱えている。 ②自治連の老齢化と、新人会長に対する説明不十分による機能不全に陥っている。毎年、数名の町内会長が入れ替わるが、大半の自治会は長年同じ人が町内会長を務めており、知っている者同士で一方向的に話を進め、新人が置いてけぼり状態になっている。自治連役員は高齢者が多く、説明も要領が悪く、よく分からない。これまでの経緯や、分かりやすい丁寧な説明が無いため、新しい人が意見を出しにくい。市の地域支援課がうまく舵取りしてもらえるとありがたい。 ③公民館の使い勝手の悪さが問題。公民館の開館時間しか配布物を受け取れないため、町内会長がサラリーマンだと苦勞する。また、資料のコピーをお願いすると、その場ですぐに対応してもらえず、後日受け取りに行かなくてはならない。またウイルス対策という理由で、コピーしたいデータをUSBで持ち込んでも対応してもらえず、コピーしたい資料は紙で持ち込まなくてはならないなど、旧態依然とした対応で使い勝手が悪い。 ④毎月の配布物が大量で重すぎるため、車のない遠方の町内会長は持ち帰るだけで一苦勞する。高齢者には持てない量のこともある。また、紙質やサイズが統一されていないため、配布に手間取り、紙質によっては指を切りやすい。配布物は業者へ委託し、町内会の負担を軽減すべき。もしくはペーパーレス化を推進し、希望者へメールで一斉に配信するなど、コスト削減に向けて取り組むべきだと考えます。
4	○	○		○			○	○	地域コミュニティの最も身近な存在として、自治会がありますが、年々会員の減少傾向が続き、新しく加入する方が増えない現状です。それでも今までは、第一世代の方達の尽力により、自治会活動を支えて頂きましたが、その方達も役員や会長から退き役員のなり手が少なくなり、一層の危機感を感じています。多様な世代の方達に地域活動の大切さ、必要性等を行政が様々な情報発信をし、理解して頂くことが急務と痛感します。	1. 自治会に加入しない、退会する人が多いのは、自治会の活動の役割や活動内容がよく分からない、メリットがない、加入しなくても困らない、役員になりたくない等の多くの意見が寄せられています。又、少ない自治会費で運営しているので、活動にも限りがあります。役員になって頂く方に、もう少し報酬を多くしたいもののむずかしいのが現状です。市からは、活動支援等にサポートを強化して頂けると心強いと思います。 2. 自治協の役割について 自治協に参画しているものの私達の自治会では、今だに自治協加入に否定的な意見が根強くあります。各自治会や各団体が所属しているだけで、自治協の役割や責任が明確でないからです。市からの様々な情報を伝えるだけでは単なる行政の下請けです。自治会の役員が少ないのに、負担ばかりが増えるのが実情です。自治協の役員も硬直化してます（個人的意見）。
5		○	○						高齢者の増加にともなうイベントの場所の問題が深刻化しているのが現状である。イベントの内容を変更し、主催者側の負担軽減を図る事も急務と思われる。	
6	○	○	○	○	○	○	○	○		より具体的な対策まで踏み込んだ内容を期待しています。

7	○			○				自治会への無関心者が多い。向こう三軒両隣は有名無実。自分自身で孤立化している。あまりにも個人情報に縛られすぎる。	全町民が町内会に入る様条例改正。又町費も税金と同じ様に市で徴収し町に還元する。町内会費を安くおさえる為に市より補助金支出。市政だより・回覧等を熟読する人は3割程度、その為内容を読みやすくする。行政に携わる人がその町内に入って自治会の実情を知る必要がある⇒現在は机上で考えられた意見が多い様におもわれる。
8	○			○			○	ここ近年は、自治会に移住して来られても、自治会会員にならない人が多くなった。(町員は入ってこないのと協力が無い) よって何か条例化してほしい。私の所は会長のなりてがなく、自治会解散の意見も3〜4年前に出ました。	自治会長の後継者不足の件ですけど、私共の所では県、市に勤務された方は1名で、他は全員公務員経験でないばかり、経験者は、自治会の内容を知っている為、頼んでも引受けてくれない。私共の所も平均75〜76才の方ばかり、将来なりてがなくなると考えます。昔と違って町世話手当の様な、何かの自治会費手当を市の方で考えてください。
9		○				○		福岡市周辺部は人口が膨れあがり、一番身近な町集会所では、イベント時も収容しきれず、コミュニケーション作りに支障をきたしている。	・市周辺部の充実が必要 日本人は北方、南方、大陸からの民族が移住し構成されているという説を聞いたことがあります。今、仕事や勉強の為、東南アジア他から来日した人達が様々な現場に見られます。これは新日本人が構成されつつある時ではないでしょうか。新しい日本を作るには、従来の日本人と新日本人が溶け合う必要があります。福岡市は都市部に資金を集中しており、周辺部は地域の一般住民と外国人がふれあう機会・場所が少ないと思います。
10	○				○			全戸配布情報を公民館が担ってほしい。自治協発信は予算面で回覧板・掲示板が多く一部の人がしか行かない。今後情報を拡大するため、全戸配布情報紙の印刷を公民館でお願いしたい。	自治協の役員のなり手が少ないため環境作りをやって欲しい ・自治会・町内会長になられても自治協の役員にはならない ・定年延長、年金支給額が少ないため、平日事業に参加がある自治協役員にはなれない ・パソコン業務が多いため、使えない方はおられる ・高齢者が多いため病気のため退かれる方がおられる 要望として ・公務員(特に市役所職員) 地場企業の職員が再任用など第一線を外れるとき地域活動に参加と役員等の指導者になるように指導して欲しい。
11							○		私共の町内は、特殊なロケーションで(風俗店が殆ど)他とは異なる環境なので運営も当てはまらないことばかりです。
12	○					○		ただ乗りしている方々へ何かアプローチできないのか。皆様にご負担(活動面、金銭面) 方法はないものでしょうか。	活動に關してご理解を深めていただき、負担のかたより(活動面・金銭面)が生じないようにご協力いただけるには、どうすればよいのか。なかなか難しい事です。
13	○	○			○	○	○	①情報発信の意味がわかりにくい。誰がいつ・どのような手段で・誰にわかりやすく伝えフィードバックされる意見の回答は? ②共有できる場面もわかりやすくする。	今まであった住民の祭りや行事等はずして独自のやり方を「共創」という位置付けに持っていくやり方には疑問があります。少数での運営等に問題があれば、それこそもっと討論し検討して広げることが大切だと思います。
14		○		○	○	○		現在自治協としては各自治会諸団体のメンバー内で活動しています。活発に活動していますが参加される人が限定してきているのも現実です。あくまでもボランティアでもあり強制はできませんが、地域の企業や人が気楽に参加できる条例や情報発信での行政の支援をお願いしたい。	過去に経験したこともない新型コロナウイルス感染予防の為2月から主たる行事が中止となっています。中止はやむを得ないのですが折角創り上げてきた地域のコミュニティが崩壊していくのではないかと危惧しています。比較的老人会は良いのです、子供会が運動会等中止、そして家庭訪問中止で子供そして親同士の関係が希薄になっているのが現状です。私見ですが昔の状態に戻す為には2〜3年の覚悟が必要と感じています。是非行政のバックアップをお願いします。
15	○	○	○					本自治会・町内会においても、共有化がすすんでいないのが実状です。特に自分の町内会でも転入者、特に一人住まいの若い方への関わり方。地域住民としての意識づけをなかなかすすめることができず苦慮しています。	
16		○		○				インターネット、ライン等を使用する情報発信の利用方法	
17	○					○	○	情報発信の在り方について、情報化社会についていけない住民に対し、いかに発信していくか具体的方策について検討をお願いしたい。	町内会毎に整備されている放送設備が有効に活用されていない。特に災害(台風)発生時の放送は、窓を閉めていることなどから聞き取ることが困難でる。市・区・校区・町内の一体となった設備を整備することを望みます。
18	○	○					○	校区内に於いて各町内の状況が異なり、人口が増加する町内が18ヶ町中3町内・アトは高齢者化が進むだけで町内での小中学生の減少が目立ち、スポーツ大会等むつまじくなって来ています。	1. スポーツ大会(校区)ソフトボール・ソフトバレー・婦人バレー大会等、5年前までは校区内チームが10チーム以上参加していたが、2019年実績として、5チーム程しか参加できていない。メンバー不足の為チーム編成が出来ない。 2. 校区内で町内混合チームでメンバーを編成できる様提案しても中々検討してもらえない。 3. 校区・町内にて老人クラブの活動を目指していますが…?
19	○					○	○	生甲斐のためには、自分の居場所は重要と思います。	自治会は地域密着化により、住民間の顔見知り、顔なじみにより、防犯、防災、子供、高齢者の見守りが安易になり住民の命を守ることになる。一方自治協議会に所属する各種団体は市民の暮らしを豊かにする役割があると思いますので、その役割の明確化、市民の参加状況、各自自治会から、各種団体に派遣する人数を縦軸に各自自治会横軸に各種団体で調査すれば、具体的な問題点と市への要支援策が見えてくるかと思います。
20	○	○	○	○	○	○	○	コミュニティの大切さは尤もですが、然しながら住民の関心の低さ住民のつながり希薄化が大きい今ではコロナ禍の為、尚、人を寄せつけようとしていない現状でもあると思います。	高齢化が進んでいる今、自発的に活動し仲間を作ろうとする人達はほんの一部でしかない。独居する高齢者の安否確認を電話で連絡しながら館への参加を呼びかけています。コロナ禍の今、人とのつながりは厳しい。早い収束を待ちながら住民との楽しいつながりを期待しています。

21	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの価値や役割を広く市民に理解してもらう為の情報発信をお願い致します。 ・地域住民、企業、学校等々、様々な主体が交流して、地域コミュニティの大切さを共有する場づくりを要望致します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での都市化、高齢化、又従来の固定化等々により住民同志のつながりの希薄化が見られ、地域コミュニティを継続継続して行く事が困難になっています。 ・災害時のつながり、人として生きる喜び、顔の見える関係づくりは地域としては最も大切に行きたい。 ・共働、共創等、行政からのご支援を頂いて、安心、安全な地域づくりを今後とも自治協議会として目指して行きます。
22			○	○		○	②共有のための場づくりに共感します。現代の住民は住居や生活に様々な違いがみられ交わる部分が少ないように感じます。	まちづくりへの希望として参加出来る場を設けていただけるように希望します。地域の祭り、小中学校を中心としたイベント、公民館に行きやすい行事等、足をはこべる状況が出来、皆が集まればと思います。
23	○					○	住民の理解を目的とするならば、情報共有の進め方を見直し強化した方がよいと思います。自治協から自治会、自治会から住民への要請の取り組み方!?	
24			○				特になし	特になし
25			○		○			
26	○	○		○		○	高齢化が進む中いかにして参加型の活動を進めていくのが課題。又条例の力でどこまでの位置づけが出来るのか心配。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯、単身世帯、核家族等、家族形態が変化している中いかに地域住民が地域とのつながりの場が大切と感じて頂きたい。その為の手助けはして参りたい。 ・町内会役員さん方の負担軽減も考慮して頂き、いつまでも関わり続けて元気（いつまでも）で住み続けていける町内を願いたい。
27		○				○	各自治会に対する市の指導強化（関与）が望まれる。市は自治会に対し活動の依頼・資金の提供を行い、自治会より提出される報告書で処理完了としている感が強いが本当に必要なイベントか？適切な資金か？非常に懸念する処である。住所不在のイベントになっていないか？市はもっと検証して、本当に必要な事に資金を提供するなどしないと、実のある地域コミュニティは生まれないと考える。	中間報告は実に良くまとめられていると思います。そして2. (2) 地域コミュニティの抱える課題が解決されれば、「共創のまちづくり」も可能になると思う。報告は良くまとめられているが、単なる報告で見る（読む）者の心に響くには程遠く感じる。課題が5つ挙げられているのだから、それら1つ1つに対応する形で『具体的』な対策を5項目に対比して記述して頂ければ、もっと判り易く、見る（読む）者の納得がいく報告書になったのではないかと。
28	○	○		○	○		情報公開法の為新しく転居した人達の人員構成が不明で高齢者の人が同居しているのが皆無為町内会として問題が有る。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み役員のなり手が無い→マンネリ化 ・定例会等参加者が特定されている為新しい発言が少ない→マンネリ化 ・役所の人員不足で依頼するも現場確認補修工事が完了出来ず事故等が生じるおそれがある。
29	○				○	○	地域自治会への加入促進を条例の中で位置づけて、マンション管理者や事業者、商店主に加入を勧誘できる様にしてほしい。	地域自治会が独自で実施して効果を上げている事業に対して助成金の補助率を上げてほしい。
30	○	○	○				③の条例などによる位置づけについては賛成ですが、その前に今回のメンバーは学識経験者等それぞれの分野の方々ですが地域コミュニティの共有にネックとなっているのが分譲マンション、公団、市営住宅、賃貸マンション、ワンルームマンション等の管理会社はこの問題に対して謙虚に受け止め協力的であろうか？メンバーの中に加入いただいて意見を聞いたうえで条例化すべきでしょう。	私の町内会全体戸数約400戸内戸建が12.5%です。その戸建住民も1人住いの高齢者が若い家族となり次の役員引受けが不安である。校区全体にいえる事です。校区内においても町内会が無い所2町内、輪番制が10町内（全体の35%）です。今回の報告では前向きな意見ですが、せっかくの参加促進ですが否参加の意見を聞きたいです。 地域において昨年高齢者支援事業を立ち上げ受けた人、ボランティアで対応出来る人を募集しましたが、受けた人がいませんでした。再度募集を考えましたがこのコロナで残念ながら中止しました。町内を見回しても高齢の方それぞれ頑張って生活され、どうかと思われる方は家族の方が施設へ入所がほとんどです（これが現状か!!）
31			○	○	○	○	活動するときに一番のネックになっているのは「個人情報」である。個人資産やDVなどから身を守るための情報は守るべきと思うが「地域コミュニティの価値の共有」に必要な情報を提供してもらえ位置に自治協議会・町内会を置いてほしい。そのための条例見直しを検討してほしい。	市に望むことは職員の地域活動参画への後押しです。現役職員はもとよりリタイアした職員も地域活動への参加が少ない（ほぼ無い）のも課題のひとつと考えます。出てこない理由に「仕事に差し障りがある」とよく聞きますが、地域活動に参画することで、今検討してあることへの気付きもあるのではないかと思います。それから公民館の役割についてもせっかく一小学校区に一公民館という素晴らしい施設と取組をしているにも関わらず地域の特性を生かすために作られたローカルルールを無視する校区外の人への施設利用を許可する条例も見直す必要があるのではないかと思います。地域の要となる公民館が校区ファーストで動けるローカルルールが使えないのはおかしい。
32		○		○		○	(2)の①情報発信と(1)の②参加しやすい環境づくりと③緩やかなつながりを生むきっかけづくりは特に重点対策してもらいたい。	小学生の親世代の参加は活動に欠かせないものになっています。次世代に活動を引き継ぐ為にもスマホをもっと活発に使用できるFukuoka City Wi-Fiを公民館や学校に設置して下さい。
33	○	○		○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自治協議会と町内会それぞれの位置づけを明確にしてほしい。福岡市のスタンスで、「自主的な団体なので、強制ではない、加入の可否はそれぞれの判断で」という面が強く出すぎると加入者の減につながり組織維持に困る。（現状がそう） ・条例で、大切とか重要とか望ましいとかの用語でファジーな規定にしてほしくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市や区の行政への協力や動員が多すぎる。このことが役員のなり手不足にもつながっている。従来のようにリタイア後の高齢者の参画で足りるような時代ではない。70歳まで就労が必要な時代という認識で、夜間や休日の活動で足りるような、自治組織の仕組みを作してほしい。 ・公民館に、自治協議会運営のための職員（福岡市の非常勤の位置づけ）を配置して欲しい。このことが、自治組織の体制強化にもつながるし、自治組織を市が準公的な位置づけで支援しているとの発信にもつながる。 ・各町内会へ加入していることによるメリットを明確に打ち出したい。今までのように、補助金を活用した活動などは、校区内全ての人に機会の平等をとというスタンスでは、「加入しないでもいいやない」となっていしまう。
34	○	○		○		○	条例による位置づけとあるが何の意味ですか。	自治協が発足して16年余となりますが、小生19年役職を担当してますが役員（町内会長）が1年交代のところもあり又、11町内の校区の為時とともに弱体化している。一部の人の力で運営されている。各種団体についても規約に基づくだけ人材がいない。男女共同参画は校区には必要ないと思う。

35				○		○		まず町内を回りしっかりと名簿を作り状況を知る事が1番だと思います。	今年予算のムダ使い。補助金を用具などに使うのは理解できない。こんな時こそ、こまっている方たちに寄付なり補助なりすべきでは無いか？災害義援金等を町内に無理に振る位なら寄付をすべきです。予算があるので使うという事は無理です。
36	○	○		○		○		ご近所さん（若い世代の方々も含め）とのつながりを日常的にもつ工夫、それは「場づくり」にもなると思いますが、こちらから近づいていく努力も必要ではないでしょうか。（あいさつはもちろん“こんにちは！”のあとに続く1、2分の会話もできる関係が大切）	私は、男女共同参画をすすめる活動をしています、地域活動のあらゆる場面で（校区体育会や夏祭り等も含め）、皆さんにその視点で声をかけることで気づかれるという経験があります。また、いろいろ大変だけど地域自治協の皆さんと一緒に汗を流してやりとげていく達成感のようなものを語り継いでいくことも大切ではないでしょうか。（自然災害等何かあれば“遠くの親戚より、近くの他人に！”と思っています。
37						○	○	事業活動に当たり補助金のしびりが強すぎることはよいのか？→収支の件監査行刑の強化を望みます。	当校区自治協役員は自治協発足以来？同一人物が担っていた経緯があり悪く言えば私物化していた面がある様に思える。同時に役員の内2名が役人経験者で「知ったふり」をふりかざしている様にも思える。従って開かれた自治協には程遠いものがある様に思える。
38	○	○	○			○		・地域活動の重要性が理解されておらず、活動への協力者は各種団体の役員や一部の高齢者に固定化されている。 ・自治協議会活動は円滑に運営されているが、次世代の担い手の育成が追いつかず、各団体の役員が高齢化・固定化している。 ・地域の町内会が任意団体のため加入を強制出来ず、加入者が増加していない。地域コミュニティの組織づくりには、市の条例として加入を制度化していただきたい。	・電気自動車導入による停電時の給電など災害対策は進んでいるが、災害が発生した際の避難所の運営体制は不十分と見受けられる。運営していただく職員の方の研修や訓練などを実施していただきたい。 ・コロナ禍の中、地域行事や活動が中止・延期になり、今年度新しく役員になった方は何も経験しておらず、次年度役員への十分な引継が出来ないで、新役員の意識や意欲が醸成されるか危惧される。 ・都市化や少子高齢化、共働き世帯や高齢者就業者の増加により、地域行事への参加が少なく、特に次世代の担い手層の参加がない。現在の多様化した生活様式や価値観にアピールする情報の発信や新しいスタイルの地域行事などを計画していく必要があると思料される。
39							○	3つとも連携強化が必要と思いますが発信側経験者（行政側）が退職後、何故か、自治協議会、自治会活動に協力者が大変少ない。本気で共創する気が有るのか。	活動原資の拡充、ボランティア等と言っているのか。行動、活動には対価が当たり前では。行政側の活動には残業○○○まで有るのに自治協活動は自前で源泉徴収されてもそれなりの時間当り（最低賃金以上）活動費を行政が負担すべきでは…誰にでもでは無い・本当に必要に応じ働いている組織上の方々。例、事務職関係者 ※大体、提出先の干、住所の明記ないのは何事かと上記を含め行政へ
40		○			○		○		委員になりてがない
41			○			○	○		1. 天神地区は企業等で働く人たちの街であり、住民は高齢化、少数化が進んでいる。働く人、住む人に共通して大切にすべき価値、提供できるサービスは何かを考えなければならぬと思います。例えば、清潔な街、安全な街、いこえる場所や催し…。このようなものがあれば企業も町内会費を負担してくれる。昔からの町のかたちを前提とした町内会組織で、あるべき活動を担えるか、考え直すべき時期だと思います。 2. 大型マンションや単身者向マンションが増えてきた地区にも同様のことが言えると思います。
42	○						○	町内自治会が任意の団体ではなく、地縁団体としその上で、情報の発信・共有のための町づくり・条例などによる位置づけを行うべきである。地縁団体の認可は、任意の団体である事自体がおかしい。任意の団体が町費の回収を行う事自体おかしい。地縁団体としては、確かに規約は必要でもその中に総会は全員参加が基本になっているようですが、町の代表（町内会長、常任委員、会計、各組長）当町では50名前後で行っている。町民へは回覧板、掲示板等での通達を行っている。毎年4月20～末日で意見がある人は各組長あるいは町内会長へ5月第3日曜日迄に進言してもらい、総会当日全て取り上げる。それで充分と心得ている。全員を集めるのは不可能。ましてや町民で町自治会を認めない人は居ない。	1.町自治会への参加 町内会長の成り手が全く居ない。原因は何も行わず町費だけ支払って自分の係わりの有る事だけやるのが一番楽。自治会長の仕事が多すぎるがスリム化は出来ない。内容は ①集会所固定資産税減免申請書の提出 ②防犯灯補助金申請 ③総会の開催 毎年5月第3日曜日 ④町夏祭り 掲示用紙作成、灯籠飾り⑤盆の供物処理 ⑥校区夏祭りみこし準備巡り同行 ⑦町内清掃道具の配布申請 ⑧校区体育行事選考（ドッチビー、ソフトバレー、ソフトボール、グランドゴルフ等） ⑨集会所防火訓練及び消防署への申請年2回 ⑩校区運動会監督決め、町民への応援要請、弁当手配 ⑪年末夜警、毎年12月25日26日27日 ⑫○○エポコ年11～12回目日程確認 ⑬○○公園の清掃年12回 ⑭○○公園にしよう会への参加 ⑮町自治会役員会毎月第1土曜 ⑯校区自治会への参加年11回（定例会議） ⑰町費の回収 ⑱○○川の清掃年2回 ⑲集会場の清掃（大掃除） ⑳校区青パト巡回年1回 ㉑.校区自治会（理事会、防災部会、防犯部会、見守り部会）への参加 ㉒町資源回収毎週（金、土、日曜日） ㉓選挙立会人 ㉔防犯灯の管理 ㉕赤十字、歳末募金への参加 ㉖公民館便り、回覧板の配布 ㉗国勢調査への参加 5年に1回 以上の事を行う事で成り手が居ない。手当としては年間52,000円。月にすれば4,333円で行動している。どれも削除する項目はないとの事で誰も町内会長をお願いしてもやってくれない。
43									真に正しい運営なのか、指導者による所は大きい。新しい人はボランティアで行動しているが、それを利用して悪い事をしている一部役員がいる。それに気づくとバカバカしくなり、心がはなれ、活動も動かなくなる。だから校区であらそいが起こる。けっきょく正しい事が勝つとは思いが…
44	○			○		○	○	「何かあったら遠くの親せきより近くの他人」ほとんどの人達がわかっている。個人情報とは何か真剣に考えなければ。	地域コミュニティを図るためには可能な限り個人の情報公開が必要である。情報公開なくして地域コミュニティが図れるはずがない。口だけの地域コミュニティのかけ声では地域コミュニティが図れるはずがない。相手のことがわかって親しくもなるのである。お世話しようとする。
45	○		○				○	地域コミュニティの大切さは、ただ予算をつけたら掛け声によって認識されるものではない。本当に必要な時、必要としている人に必要な資源（モノだけではない）が届けられるように準備されていることによってコミュニティの価値は認識される。	①自治会（町内会）は無条件に自動的に全世帯参加となる仕組みを作る。ただし役割分担は強制ではなく、出来る人が出来る時に出来る範囲でやることを原則とする。…上記（1）の⑧について、役員は定年制とする。 ②地域の意思決定における民主主義教育が大事。リーダーの独断専行は論外だが、性急な多数決で決めるのは民主主義ではないことを教育する必要がある。 ③様々な場面での弱者への共助・公助体制の整備。特に厳しい環境にありながら支援を求めることを良しとしない人々（沢山います）への支援策をどうするか。

46		○	○	○					③を特に要望します。	4 ページ（3）市の意識改革は以前にくらべ良くなっていると思うので、これからも宜しく願います。
47	○	○		○						市からの依頼事項が多く、地域の負担を軽減してほしい。（民生委員、公民館長、スポーツ推進委員、保護司、国勢調査）等の推選制度の見直しを。
48		○	○		○			○	町内会役員の役割は地域の多くの皆様が“ここに住んで良かった”と素直に感じられる、楽しいまちづくりをざっくばらんな意見の集約を図りながら、目指すことだと思っています。「向こう三軒両隣」の好ましい交流が活発化すれば、つまらない静いごとは起こりえないと思っています。笑顔の挨拶が飛び交うまちづくりをこれからも気合を入れて精進したいと考えています。	地域では高齢にも関わらず職を求める方々が増えています。町内会役員の活動に無関心な方に町内会役員を引き受けて欲しいと勧誘しても、年間手当の余りの少額さに苦笑い拒否され、役員のマンネリ化が町内会の様々な活動を阻害している状況が残念ながら見受けられます。回覧板に添付する数々の催し物のパンフレット（ビラ）やブログとして発信する情報をどの程度の皆様が目を通して頂いているのか、長年一抹の不安を懐いています。公民館を訪れる地域住民の顔ぶれはいつも見慣れている顔ばかりで新鮮味に乏しく、2 年毎に開催される校区運動会も地域交流の楽しい催しとは程遠いイベントだと虚しく感じています。当てにならない男性よりも、行動的な女性の活用を次年度は積極的に見直したいと考えています。
49	○	○	○	○				○	最小単位隣組の活動が一番大切です。一斉清掃や防災訓練等に出会いの場作りが大切です。	役員の負担の軽減～総会等は非常に大きな負担です。会計報告程度で十分と思います。
50			○		○			○	福岡市を挙げて、各区役所、地域支援、生安課、福祉課等、各部署に精通したスタッフを配置して頂き、指導・支援を御願ひしたい。	
51				○					上記（1）について、スリム化による負担軽減は理解できるが、他の取組は負担増になるのではないか。市の支援では、行政の末端の組織として、各公民館に職員を常勤させ、地域の負担軽減を図る。市の意識改革にもなる。	市への質問 ・町内会長（自治会長）は長年やるのが良いのか？又は任期（4～5 年）を決め必ず交替するのが良いのか？返事を頂きたい。 ※町内会長になると多くの人が、後任がいなしとの理由で、10 年間とか長期間勤められているケースが多い。長年、町内会長を続けるのは大変なことだと思うが、長年続けると表彰されるのはおかしい。長年続ける事を推奨しているのではないか。 ※地域コミュニティの価値や、大切さをより多くの人に知ってもらう為に町内会長や各役員の任期を決め、必ず交替（再任は不可）をして、多くの人がコミュニティに参加出来るようにする事が大事だと思う。（再任不可を制度として通達する）
52	○	○	○	○		○			町内会単独では無理な取り組み。例えば、他校区との合同清掃の実施。環境保護に取り組む団体との連携した取り組みの実施（啓発、自覚につながる）野鳥観察機関、パドウォッチャー等との交流を通じた地域財産の見直し～活動につなげる。 ＜現状は公園、池、空地等へのなんでもポイ捨て＞自転車、タイヤ、タバコ、ビニール袋、マスク、ビン、換気扇、菓子袋、ペットボトル、空き缶、はな紙、犬の糞など	
53	○	○	○	○	○	○	○	○	情報を共有する。そして未来に希望を持ちたい。	自分の事を顔見知りの人に何でも知ってもらい、共に助けたり、助けてほしいです。
54		○	○	○	○					
55		○	○							
56		○				○		○	ホームページを作りたいと思っても、年寄りには技術がない。他校区でホームページを作っている処も、途中で頓挫しているケースが散見される。自治協議会に、そういうことに詳しい人を入れて運営できるように人件費を増やしてもらいたい。	
57	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成です。	自治会長の準公務員化による市民の自治会長への認識度を高めることにより、組織強化をねらうこと。昔の町世話人制度の時代は、ある面では組織が強かったが、現在はボランティア化していることが組織軽視、組織弱体につながっている様に思える。自治会長に行政からの何等かのお墨付きが欲しいものです。
58		○	○					○		
59		○		○		○	○		情報発信の多様化と双方向化。参加し易いイベントの開催を企画する。	異なる立場の人の意見をうまく聞いて、成果のある会合の場をつくり、どうすれば物事を有意義に成し遂げられるかを話し合えたら良いかと思う。
60		○	○	○	○					・まちづくりの担い手作り、探しをする中で、高齢になっても仕事に行っている方が多く、又、若い世帯は子育て・生活におわれ、なかなか参加できないのが現実です。 ・向う三軒両隣の関係が大切と思われる。 ・インターネット、スマートフォン等で情報を入手できる方は良いのですが、できない方々を置き去りにしないようお願いしたい。 ・退職された市職員・教師等のまちづくりへの協力があるとうれしいですが。
61	○	○	○	○	○	○	○	○	価値や重要性を発信しても、各人が地域コミュニティの必要性を感じなければ参加は難しい。（現状に不満がない方々はあえてきつい思いをしてまで参加はしないだろうから）これからは「参加しないと困る」「参加するとこんなにもメリットがある」というような抜本的な発想も必要かと思う。	私が居住する地域は○○小校区、○○地区の2つの自治協に所属しているため、会議や行事、地域活動の参加が通常の約2 倍あり、非常に負担が大きい。小学校校区のみの参加でOKにするとか、何か早く手を打っていただかないと、誰も役員になってくれなくなると思う。（すでに決まった人が何年も役員をしている現状）

62	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(3)に記載している内容について「共有」「条例等による位置づけ」に活かしてほしい。	※市では「市内美化の推進」として「一人一花」を実施されているが、これはこれとして大変良い内容であると思う。 ※ただし、前項に先立つ施策として「町なかからゴミをなくす」ことが必要ではないかと思います。 ・「タバコのポイ捨て」「食べ物などの空き袋の放置」…その他の「ポイ捨て」が目にとります。(罰則の強化、報償制度等行政と地域住民が一体となった施策により「福岡市をキレイな町」にして行けばいいと思います!)
63			○				○	○		私達町内は800余世帯1800人以上。新・旧住民が混在しています。防災については活動ゼロですが、別のジャンルで成功した事例を紹介します。市の「地域デビュー応援事業」を利用し、項目①④⑥で住民の顔(道で会った時大人同志はもちろん、大人と子供が気安に声かけられるようになります)市政日より南区版他で紹介されました。累計参加1141人	1P2-2役員の固定化、良い意味であれば結構ですが、独占(次世代…若い世代…への移行が進まない)が見られます。
64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・自治会、自治協議会の長の75歳定年制を希望します。 ・仕事を持っていても活動できる工夫が必要です。スリム化、IT化 ・コロナに負けず公民館を活用する工夫が大切です。	(株)ふくやさんが取り入れている社員の地域活動を福岡市の職員にも取り入れる。地域活動をする職員にメリットがあるようにする。若い人の地域参加のきっかけになる。 防災…その校区に住む市の職員が担当すれば、早くかけつけられるし、顔のつながりもあってベスト。
65	○	○						○		今年度、集まることのできない時、企画、講演など困難になってきています。人数制限などきびしい。インターネット使用の時代、知識を教えて頂く場が必要です。	部会で講演会など開催する際、ひとりでも多くの一般の方々に集まって頂くよう企画の中で新しい発想で開催していく予定です。
66				○						③はどうか?条例を定めて町内会(住民)に強制するのか? ・なり手がなく高齢化している町内会長への負担軽減をもっと考えてほしい。	上記(1)について ②住民への参加強制、負担増にならないか? ③当町内会では主に子供会が行っている。 ⑦毎年3月の町内会議で会計報告書を提示している。当町内会では全世帯が加入済(年会費3,000円) ※町内会長は1〜7組で輪番制と決めてもなり手がいない。このような町内会は解散せざるをえないと感じる。
67		○		○		○	○				
68											独居老人の家屋内外がゴミ屋敷化となっている家が見受けられる。町内会も高齢化が進む現状です。対応策と推進策をお願いしたい。要望あれば案内可能です。
69	○				○	○		○		具体的なイメージができません。	本文にあるように、そもそも町内(自治)会長へのなりてが少なく、輪番制が増えてきている、つまり自治協議会会長や役員の受け手もいなくなっているということです。P4に記載されている①〜⑧の検討を行っていると思いますが、ここが具体的ににならないと意見のいいようがありません。
70	○		○								自治会、町内会は任意団体であり、加入への位置付けが不明瞭。若い層程、地域コミュニティへの理解がなく、加入しない。年々高齢化が進み、町内行事に参加出来ない人が増加しており、加入脱退者への継止めが難しくなっている。町内会維持の為に地域コミュニティの価値感、大切さの広報支援をお願いします。
71	○	○	○				○				
72		○	○	○				○			町内行事運営には町内会長の負担が大きく、次の人へのバトンタッチに不安が残る現状。役職への報酬も多くはなく、手を挙げる人がいないと思われる。この点を改善しないととまららない。
73	○	○	○		○			○	○	価値は情報ではなく、体感して意識づけられるのだと思います。価値があると思えた人が豊かな暮らしを手に入れることができる。そこに感謝があって、自分にもできることがあるのでは?そう思う人に役を振る。(その部分を支援してほしいです。)その繰り返しで地域が創られる。まちづくりは人の思いの足し合わせ。	・企業やNPO、大学などは連携を求めているのでしょうか? ・支援は人材(人件費含む)投入込みでお願いします。
74			○	○			○				
75	○	○				○	○	○			
76	○	○		○							検討委員会の中間報告は「地域活動への参加促進」「担い手の負担軽減」として①〜⑧項目検討中との事で期待出来ます。一方で取組方針大枠については理解出来るものの、それぞれまだ具体策が現状示されていないので今後の方向性が見えにくい。検討中の文中に(支援・取組・きっかけ・連携・推進・強化)とあるが、何をどのようにするのか。最終案を見たい。
77	○	○	○								
78	○							○			コロナ感染情報、市だけの感染者数では、少なくとも区の情報も出して報告があれば。
79				○							自治協会長のなり手不足 市内の各自治協では会長手当を15〜18万円くらいに設定されていますが、周辺都市では月額としてこの程度を受けており年額は100〜200万円となっています。福岡市内では諸費用を手出ししている例もあります。高島市長が2〜3年前、この現状を改善する為、補助金に5万円を上積みすることとしたので、この金は会長の活動費として使って下さいと自治協会長に話がありました。 所が自治協に対する補助金に合算して支払われた為、自治協役員や会計にこのことが伝わらず、結局、一般補助金がふえたただけ解釈してしまいました。書面でも増額の意味と処理方法を明示してほしい。会長自身のことだけに強く請求ができず市長の好意がムダになってしまいました。

80		○									地域の安全・安心の対象者として高齢者が大きなウェイトを占めています。災害時に避難支援の手をさしのべる必要があります。 所が高齢者の多くはスマホを所持してなくて、パソコンも無理です。文書も字の大きさや目の不自りさで難解なものは周知困難です。青パトでの放送も風雨でききとれません。 一番伝えたい相手に伝えることが非常に困難です。 そこで、同居の家族（若い世帯）が所持するスマホに自治協からの連絡が容易にできれば、それを高齢者に伝えるという仕組みがあれば助かります。このことを会長が足で説得してまわるのは限界があります。行政からの啓発キャンペーンがあればと思います。
81	○	○	○	○	○	○	○	○	○	②共有のための場づくり もう少し具体的に説明してほしい。漠然としており、イメージが掴みにくい。	「地域コミュニティにおける現状と課題」及び「今回の検討の主旨」については良く纏められていると思います。 問題は、中心的役割を担う自治協議会や末端の自治会・町内会の実行性あるフォローをしっかりとさせていただくことが大事で有り、報告書だけに終わらせないことだと思います。 末端の自治会・町内会は、高齢化・共稼ぎ家庭が多くなる環境での活動（ボランティア）に苦勞しています。
82	○	○		○			△			・地域コミュニティとしての情報開示（まとめ）大学・企業・区役所等々の対応支援 ・各自治協、自治会等の課題に対する意見吸収と対応策	・市、区役所の要請事項に対して、自治協（自治会）への情報開示が無い。（例）ふれあい活動＝自治会に於いても情報開示に協力して頂く世帯が少ない。 ・飲食付の行事は子供を中心に多くの参加が見込める。 ・高齢者一人暮らしの方を、いかに外出して頂けるかの方策（健康維持と孤立化防止） ・自治協としての防災・防犯組織はあるが、自治会として組織体制はなし。いざという時に役に立たない！ ※高齢化、共働き等により自治活動への関心低下⇒いかに参画させるか！
83		○		○						住民の中には町内会に入らない人が増えて、町内の運営・行事にさしかえが出ているのでこまっている。条例で義務付けてもらえれば。	
84		○				○	○		○	地域コミュニティの必要さ大切さを個々人に理解いただける様、行政からの接しが必要であり、一番必要なこと。	
85	○	○				○			○	①11校区を3等分して、自治協会長で検討・協議する場をつくることが大切。 （例）情報発信・・・デジタル化について研究する。 共有のための場づくり・・・下記の様なイベント企画を協議 条例・・・周知徹底の為の施策を区役所と共同で勉強していく会とする。 ※自治協会長が参加し企画し勉強する場が必要。	①城南区、福岡市自治協議会として、組織としての活動が現在はありません。 【A】城南区11校区対抗戦のスポーツイベントを企画、実施されてはいかがでしょうか。（各実行委員を決めて企画、運営を担う） ※メリット・・・心身の健全な育成に役立つ。区内の情報交換、交流の促進にもつながる。組織の帰属意識の向上に役立つ。 実施項目【案】①グランドゴルフ対抗戦②ダーツ大会対抗戦 まづ、尚早に出来る2種目に絞り実施致しましょう！執行部で協議してください。費用は各校区自治協で分担（景品代など）
86					○					地域に人選の依頼が来るが、手続きを簡略化してほしい （具体例） スポーツ推進員の推挙にあたり、再任の場合でも毎回履歴書の提出を求められる。再任の場合は省略できるようにしてほしい。	
87				○	○				○	皆さん、口ではご苦勞様ですと私達の地域活動に好意を示されます。しかし本音では、そういう仕事が好きなんでしょうと思っている人達がいます。だから参加してこないのでは？やってみるとけっこう楽しいのですがねえ...	企業、行政等の実質的な定年が70才となり、地域に元気に動ける人が本当に少なくなった（男女共）。 地域から労働力を吸い上げる世の中が進む限り、いずれ地域コミュニティは成立しなくなると思われる。 行政に勤務する職員は定年後、地域コミュニティに必ず参加する（自治会長、民生委員、公民館長等）という条例でも作らない限り将来の姿が見えない。75才の民生委員が80才の高齢者の見守りをしているのですよ。
88		○				○			○	特になし	
89				○	○	○			○	自治会・町内会への加入を条例化できないか。 例えば、災害弱者をつくらない取り組みを推進したくても、避難行動要支援者名簿登載者に手を差しのべるとしても、圧倒的に未加入者が多ければ取り組みの推進を妨げかねない。	校区によって違うとは思いますが、自治会議会の運営基盤の強化を図るためには、公民館による支援や連携強化は欠かせない。公民館職員が市の職員であるならば支援や連携強化はやりやすいと考える。校区によっては、人材不足から自治協議会の事務局がないところもある。事務局が設置されている校区でも公民館職員に補佐してもらうとさらに事務局機能を強化できると考える。
90	○	○	○	○	○	○	○			福岡市内でも地域差があります。特色があって当たり前と。その場、その時々でしっかり見てください。見て見ぬふりは止めて欲しい。	同上
91	○	○				○			○	※特に無し	※広報物配布先名簿、住所、世帯主氏名は理解しますが、火災等の災害が起きた時、何人住んでいられるかわからないので世帯人員数を記載していただければ町内会はそれなりの対応が出来るのでないかと思います。
92	○	○	○						○	「条例などによる位置づけ」が地域コミュニティの価値としてどの様に整理されるかが不明。	1 災害時の避難誘導を必要とする障がい者に対し、現在条例化が進められていますが、緊急避難時における要援護者支援はその者の最も身近な周りの方です。地域では町内会の集まりを利用し、組長にその旨お願いしているところ。避難誘導は支援者名簿の掲載には関係なく全ての人に必要です。個人情報関係もありますが、要援護者も支援者にとりましても利用しやすいものとなるようお願いします。 2 全体としての方向付けは良いかと思いますので今後これらに向けてどのような具体策が考えられるかが重要と思われます。

93	○	○	○	○	○	○	○	○	①情報発信 情報の発信は非常に大事とおもわれるが、その発信の方法を検討してほしい。現在、市からの情報（公民館だより含む）は町内の回覧板あるいは各戸への配布により対応している。自治会の高齢化等により今までの情報発信の方法に疑問を感じる。インターネットまたは掲示板の増設など必要では。 ②共有のための場づくり 様々な主体が交流するのは、理解をしめすが、校区にあたっては、そこに住む住民が主体となるべきと思う。特に企業にもとめるのは、企業の社員は自ら住んでいる居住地に積極的に地域活動に参画することを呼びかけてほしい。（企業の宣伝等が多々あるようにおもわれる。）共有のための場づくりは、公民館内に自治協議会事務局が設置されていない。校区のことを考え、コミュニティのことを考えるなら、整備する事案があるのではと思う。 ③条例などによる位置づけ 条例等により位置づけしても、それを実践するのは自治会ですか？条例をつくりましたから自治会は実践してくださいですか？もしそうであれば、条例の必要はないのでは…	自治会では高齢化により、様々な活動に支障をきたしていると思う。政府が80才まで働けという。非常に良いことと思うが、それから自治会活動に参加されても？と思う。 地域コミュニティも大事だが、まずは自分の生活・家族の生活が大事である、校区活動・自治会活動はその次。より良い人材を校区に求めるとすれば、自治会によるNPO法人化等費用支出の柔軟性（余ったら返却等）ボランティアから一歩進んだ取り組み。また25校区同様な活動（予算を含む）ではなく、自治会の独自性を認める柔軟な対応も必要では…
94	○	○	○	○				○	○	共有、共感、共働、共創のプロセスが必要。共有と共創はあるが、共感、共働の視点がないように思う。特に共感がなければその先がない。
95		○		○	○				○	☆自治会町内会に対する法的位置づけが希薄な現状は、むなし。「条例などによる位置づけ」は絶対に必要。 ☆自治会町内会加入率の低下による活動予算の減少が、担い手不足・後継者不足や負担増感に繋がっている。 ☆○○校区は、自治協事務局と公民館事務局が同一室内で机を並べた配置であり、情報の共有や事務の連携が良好で望ましい状況にあると思われる。
96	○	○		○	○			○	○	コロナ禍で人と人のつながり、マンションと一戸建の住民のふれあい方 役職固定が出来て新人の発言の場所がないため若い人が育たない。役職の分散1人1役、任期を決める（再任なし）
97	○				○				○	自治協議会に対する自治会・町内会長等々の理解度が低い 自治協議会の何たるかをもっとPRする必要有。（我々のPR努力と行政の努力が必要）
98	○	○			○			○		多くが自治協が何なのか、何をやっているのか、何の為にしているのか知らないと思います。これらの事をいかにして目を通してもらうかからだと思います。 特に転勤のある住民には何らかの地域活動に参加していなければ関心もないでしょうし機会もないと思います。大変だと思えますが公民館でのイベント開催で情報収集とか駄目でしょうか？
99		○	○						○	①情報発信②共有のための場づくりは是非実施してほしい。 上記①②を実施のため、地域支援課の各校区担当者が、週に5時間、その推進を図るため、各担当の自治協議会に、着席（小規模の兼務出向）したらより一層効果的に進みと考えます。
100				○						報告資料の1ページ2（2）にあるように各自治体での課題も多く、住民の地域コミュニティへの関心の低下がある中で、自治会役員も1年～2年で交替し、強制的に役員をしているケースも多々見受けられます。その役員にどこまでの役割を背負わすのかと疑問に思います。
101	○	○		○	○			○		各町内毎に検討委員会主導で住民説明会を開催してほしい ※町内会主導では集まりが悪い
102	○							○		市政だよりを使つての繰り返しの情報発信など大切なことだと思います。共有ということですが、地域に「やらされ感」が生じない様お願いしたい。 地域コミュニティのまちづくりにはトップダウンでは前に進めないと考えています。住民の声が届きやすい小さな集会（例えば町内）での働きが集まって校区が活性化し、ひいてはそれが市に繋がっていくと思います。ただ、それがなかなか難しい課題でもあります。人材育成への支援も必要ではないでしょうか。各校区では、高齢者支援推進会議も開かれていると思いますが、これからのまちづくりを考えるこの会議をこれからも続けて住民の声を聞きながら地域コミュニティの活性化に役立てていけたらいいと思います。
103		○		○				○		高齢者とのかわり方 検討されている課題は大変良い事ですが私達大人がもっと人とのかわり、繋がりを大切に子供達に教えて行ける様、心を育てていかないと!!と思います。
104	○	○	○	○	○	○	○	○	○	コミュニティセンターの充実を図ること
105	○	○		○	○					
106		○	○							条例などによる位置づけを企業、民間に示し、有給の取得もしくは地域コミュニティへの参加奨励制度をつくる。 今後の世代人口を考慮するなら、人口も多く労働世代ではない60～70代をメインに据えて、元気で知識や経験も豊富な人材を活用する仕組みを作り出してほしい。
107			○	○						自治会の役員になる人がいない、活動が多く仕事してある方が敬遠する、若い人が出来る様にしてほしい。
108	○	○	○					○		

109		○	○						アパート・マンションへの転入者とのつながりがなく、在住者の高齢化で、将来町内会自身の崩壊が懸念される。一斉清掃等の呼び掛けは、掲示板に貼付けで、回覧板も在住者のみで参加者はいない。又、子供会もなく、子供達を支えた交流（遊び）の場もない。住民が興味を持つ情報を全戸にチラシ紙で投函し、促すべきではないか。	1. 住民が一番必要とする情報は、災害等の町内の対応である。ハザードマップを活用し町内の状況を知ってもらい、災害時の町内本部の立ち上げ、安否確認、支援、救助活動、救援物資の提供など作成し、町内全戸に配布し、集合場所等で説明会を開く。 2. 6月・9月の市の町内一斉清掃日に全戸にチラシ紙を配布し参加してもらう。特に小・中学生がいる家庭は親子で参加してもらい、町内の人にも紹介し、顔見知りになってもらう。 3. その際、町内の企業からも数人参加をお願いし（役職者以外）出席しない他の従業員の方にも、地元町内会とのつながりを意識してもらう。 4. 今の子供や親達はテレビゲーム等に夢中で昔の遊びを知らない。子供達は意外と興味を示しやりたがる。自治協議会や公民館を中心に、色々な企画の中で昔の遊びを高齢者の指導で実現し、町内の行事にも取り入れれば、住人との結びつきが強まるのではないかな。 5. 通学途中で会う町内の人や、いつも出会う出勤者との挨拶がない。知らない人とは挨拶をしないとの学校の指示があるのではないかな。小さい時から挨拶を交わす習慣が地域とのつながりを強め、子供達の故郷との意識が生まれるのではないかなと思う。横断歩道での車の停車率にもつながって行くと思われる。長野県民の風習が今も生きている。
110										1. 当自治会における地域コミュニティの活性化推進の動き （1）○○自治会組織の硬直化・事業活動のマンネリ化 （2）自治会事業活動する場合における拠点の確保 （3）○○公園コミュニティパーク事業の実施とパークハウスの建設 （4）○○公園とパークハウスの一体活用による地域コミュニティの活性化 2. 福岡市に対する要請 （1）地域コミュニティに前向きに対応している自治会への優先的な支援 （2）集会所などにはインターネット通信ができる環境整備の支援 （3）賃貸集合住宅住民（ワンルーム）に対する情報連絡手段の構築への支援
111	○	○	○	○					市政だよりをもっと読みやすくする。市長の宣伝誌にしない。共有できる場づくりを提供でき、団体の表示、無料で説明できるようにしてほしい。地域支援の為の予算を増額し気軽に計画し、補助がもらえる様にしてほしい。条例などで位置づける必要はないと思う。	校区の中でも町内会長の担当世帯数は大きな差があり、一律に考えることは難しいと思います。何か始めようと計画しても、まず、話し合いの場所がない。活動しようとしても予算がなく、大きく捻げることができないのが現状です。地域それぞれの実態を把握して、適切な支援や助言ができ、自主性を大事にした共創のまちづくりを考えて欲しい。検討委員の方々にも、可能な限り、自治協を訪問し直接意見を聴取して責任を果たしてほしい。
112	○		○	○				○	○ ・各地域と行政のコミュニティ不足が見られるので、会合又は懇親を深める。 ・全体で集まるのが難しいのであれば個々で話し合えばよい。 ・行政の勤務時間が短いため話が続かない。 ・まちづくり推進検討委員会の組織化を事前に広報されず、今回の中間報告も会の案内書が無く唐突で誰が誰に送付されたか。？	・本委員会があるのを知らなかった、事前に報告があったのですか、立ち上げられた趣旨を説明してほしい。 ・自治協議会の組織が衰退してきたので早急に対策を検討すべきです。 ・自治会・町内会の役員が指導力無く、努力が足りない。 ・自治協議会立上げから時間がたち、指導者が高齢化で継承者が育っていないので、対策を検討する必要がある。 ・自治会・町内会の住民が戸建て、マンションの組織の為コミュニティ不足している。 ・“自治会活動ハンドブック”をもっと有効利用すると思う。 ・自治会・町内会に世話人が居なくなり会の消滅している為、早急に対策を？ ・自治会役員は規約・組織のルールを知らなすぎる、勉強会又は指導する。 ・自治協議会と公民館との関係はどんな関係ですか？
113		○	○					○		安心して暮らせるコミュニティを願っています。

114		○	○	○			○	○	<p>3つの項目（情報発信、共有のための場づくり、条例などによる位置づけ）についてですが、自治会長就任1期目の私は、具体的に何も思いつきません。難しいというか、何も情報も知識も持たないので、意見を言えません。しかしながら、もう少し分かり易く、具体的な説明があれば意見を申し述べる事が出来るのではないかと残念に思っております。</p>	<p>共創のまちづくりを進めるために必要な取組みにある（2）自治協議会や自治会・町内会に対する支援（地域活動への参加促進や担い手の負担軽減のための支援）について</p> <p>私は、まだ新米の自治会長で、自治会・町内会の運営・活動を前任者に倣って、自分なりに勝手に解釈し、進めている状況で、果たしてこのままで良いのかと不安と疑問を感じています。それでも、前年同様にして行けば、さして問題もなく1年が過ぎて行きます。これでは、「共創のまちづくり」について、大切な現場の意見など申し述べることは出来ません。自治会長の理解力・実践力を深めるために、次の勉強会の開催を提案します。</p> <p>①新任の自治会長の勉強会の開催</p> <p>②2期目、3期目の自治会の勉強会の開催</p> <p>この勉強会では、自治会長の役割、責任、活動、手法等の基本を勉強することで、不安や疑問も解消し、行政側も現場の生の声を聞き取る貴重な機会にもなると思います。</p> <p>また、町内活動の中で、住民の不安・問題点・情報不足を解消するために、①防犯カメラの設置②掲示板の設置を提案し、調査検討しました。</p> <p>しかしながら、手続き、適正な費用、維持管理等に全く不案内の自治会長では、難しいことばかりです。最初の手続きにおいて、道路占有許可を自治会で取得しなければならず、これが障害となって設置を諦めたという他自治会の最近の事例もありました。</p> <p>適正な機種と費用も業者の言いなりで全く分かりません。定期点検とその費用、賠償責任保険料、自治会の誰かが継続的に管理責任者になる必要性の難しさ。設置するには、時間と根性、多額な費用が必要です。設置を提案したものの出来ないストレスが募ります。起死回生の問題解決は、福岡市が手続き、適正な機種選定、維持管理を代行して設置する。自治会は、受益者として必要な負担金を福岡市に支払う。</p> <p>このことにより、簡単に、早く、安く、合理的に設置することが可能になります。</p> <p>いかがでしょうか、自治会・町内会、担い手への負担軽減の具体的支援になり、住民サービスと自治会の活性化となるでしょう。市の意識改革を期待します。</p>
115	○	○		○	○		○		<p>資料拝読いたしました。検討いただき有り難うございます。現在、自治会・町内会等地域が抱えている問題点です。特に住民の理解が重要ですが、現状どこ迄理解されているのか不明（若い人）。役員のなり手がいない！行事等への参加が少ない等、地域コミュニティの大切さを伝える事が必要と思います。学校に於いて道徳教育の充実を進める事が重要だと思います。</p>	<p>現在、自治会・町内会に於いて、悩みの1つに加入者の減少が発生している。特に未加入者が目立っている。加入の勧誘は行っているが思うようにいかず、地域コミュニティに対する価値観の違いと思うが？個人主義が優先？委員会でも課題としてあがっている。将来的には加入者の減少が続けば自治会・町内会の活動縮小につながって行くのではと危惧しています。歯止めの施策も必要ではないでしょうか？（原因は任意加入の為であるが。）</p>
116	○			○		○		○	<p>地域コミュニティの活動に正解はないので、各校区自由に取り組めないか。位置づけをすることで、やれることに縛りがでると思うし、嫌なことはやりたくない人が長になると何も進まない。</p>	<p>・公民館でのインターネット活用は環境を整えるのに、会長の理解や設置に関してハードルが高い。全館にWi-Fiを活用できるようにしてほしい。</p> <p>・男性は地域活動と仕事を混同して、会議をバツと済ませようとするが、一見ムダに思える話から、アイデアや活力がでる。</p> <p>「正しいより楽しいか、ワクワクするか」校区の特色をもった事業に活動の中心をもつようにしてはどうか。（全団体ががんばると負担が一定の役員にかかってしまう）</p>
117	○	○	○	○					<p>例えば自治会加入などは、全員加入と決まると、やりやすい面もあるが、条例などにより…ねばならないとなると、反対にプレッシャーになる点もある。抱える課題などはとてもよく理解して下さっていると思いました。</p>	<p>高齢化などにより、リサイクルの問題があります。資源を大切にと思い出して下さいとお願いしたいが、高齢者は出せない方々も増えてくる。これを、ボランティアでまかなおうとすると続かなくなる。東区では、資源物ももえるゴミと同じように、各家の前に出す方法で業者が集めてくれるところもあるとか…。自治会で業者と相談するのはむずかしいので、市が間に入って、これから集団回収ばかりでなく、必要なところは各戸回収もお願いできれば、もっと資源物も大切にできるのでは…と思う。方法論だと思う。</p>
118		○	○				○		<p>※価値の大切さは理解出来ているが、共有する為の具体的な方策が見当たらない。</p>	<p>※町内会活動の基礎は、町内会費であるが、大手建築会社や、管理会社が、堂々と、自社は方針として、支払いはしないとしている所があり、市として対策をお願いしたい。（加入は任意としているが、市民だよりは配れと言う）</p>
119	○	○			○		○	○	<p>根本的にまず、行政の方が住まれている町の自治協議会にも参加されていないのが一番の問題だと思います。理想だけで物事を言っているだけでほとんどの人が参加していません。町内で活動していたらプライベートの事が色々と情報が入ってきます。何故協力しないのか？そこが一番の鍵だと思います。</p>	
120		○	○						<p>福岡市独自の地域コミュニティ（町内会、自治会）へ、住民は全員参加する条例が必要と考えます。</p>	<p>町内会・自治会への参加、町内会役員等への担い手不足を補う為にマイナンバーカードを利用して、現金ではなく、市独自の地域通貨又はポイント（マイナポイント）等を受け取り、将来利用することが出来る。又、住民の方も地域活動に参加すればポイントがもらえる制度を作る。例として役員○○ポイント、組長○○ポイント、その他○○ポイント。住民の地域活動、清掃○○ポイント、体育行事○○ポイント、子供会○○ポイント。</p>
121		○	○	○					<p>少子高齢化より、役員が固定化している。そして雇用定年制の引き上げにより、ますます、役員の高齢化が進み自治協の活動の負担が大きくなる為に、活動のスリム化による負担軽減の推進を強く求めたい。</p>	